

静岡市食の安心・安全アクションプラン平成27年度～平成30年度進捗状況

進捗状況評価の指標について  
A.計画以上の進展:各年度末までに目標値110%以上の進展、定量的以外のものは新展開や追加内容があった場合  
B.計画通り進展:各年度末までに目標値の90%以上110%未満の進展、または目標内容の実施  
C.計画通り進展していない:各年度末までに目標値の90%未満の進展、または目標内容の未実施

【Ⅰ.食の安心の提供のための施策:事業番号1～33】【Ⅱ.食の安全の確保のための施策:事業番号34～57】

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
食の安心・安全に関する情報の提供、公開を推進します	生産・流通から消費に至る食の安心・安全に関する情報の収集に努め、提供、公開を推進します。	1 市内の食品衛生法違反措置状況について報道関係者への情報提供やホームページへの掲載	市内の食中毒や違反措置状況をホームページに掲載することにより、市民に注意喚起をします。	事件発生時、情報の更新を3日以内に行う	3件	8件	6件	B. 計画通り進展		食品衛生課
		2 事業者、消費者に対し食品や飲食危害に関する情報を提供	食品事業者に対しては、主に食品衛生協会を通じて、消費者に対しては各種メディアやホームページ、パンフレットを通じて情報を提供し、広い啓発広報を行います。	事件発生時、速やかに行う	●ノロウイルスによる食中毒について、冠婚葬祭施設や社会福祉施設、食品製造業者等に対してチラシを配布した ●豚肉の生食禁止について、スーパー立入時に注意喚起した ●食協ニュースにウェルシュ菌による食中毒についての文章を寄稿した	●カンピロバクターによる食中毒について、飲食店営業者に対してチラシを配布した。 ●食協ニュースに、HACCPによる衛生管理について、ウイルスによる食中毒についての文章を寄稿した。また、牛肉等の生肉の取扱いについて注意喚起した。	●カンピロバクターによる食中毒について、チラシを配布し、新聞にも掲載した。 ●食協ニュースに、HACCPによる衛生管理について及び、アニサキスによる食中毒についての文章を寄稿した。 ●O157食中毒について、そうざいの量り売りをしている店舗ヘトング等の衛生管理の徹底の通知を発出した。	B. 計画通り進展		食品衛生課
		3 食品表示に関するパンフレットの配布等、情報の提供	・食品表示に関するパンフレットを配布します。 ・食品表示に関する資料や新聞記事を収集・整理します。 ・食の安全に関する新聞記事の収集・整理します。	モニター研修等を通して、食の安全に関するパンフレットの配付	モニター研修等を通して、食の安全に関するパンフレットの配付	モニター研修時に、食の安全に関するパンフレットの配付	モニター研修時に、食の安全に関するパンフレットの配付	B. 計画通り進展	H29年度で消費生活・計量モニター廃止のため、H30年度より講座での配付に変更	生活安心安全課
		4 特集コーナーを利用した関連図書の展示による知識の普及	関連図書の展示を行い、「食の安全」に関する知識を身につけてもらいます。	12回	12回実施	12館実施	12館実施	B. 計画通り進展		中央図書館
		5 図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	「食の安全」関連図書を収集し、提供します。	300冊	87タイトル 307冊	84タイトル 294冊	87タイトル 342冊	A. 計画以上の進展		中央図書館
		6 食の安心・安全ホームページ「たべしずねっと」の運営	消費者を対象に、静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するウェブサイト「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。	事件発生時、情報の更新を3日以内に行う	H27年度のアクセス数:42936 メルマガの発行:7回	H28年度のアクセス数:41128 メルマガの発行:11回	H29年度のアクセス数:38511 メルマガの発行:13回	B. 計画通り進展	事件発生時の情報更新は実施できているが、アクセス数が減少している。情報を広く伝達するため、コンテンツの充実とホームページのPR方法を検討する。	食の安全対策推進連絡会事務局 健康づくり推進課 農業政策課
食の安心・安全に関する意見交換を推進します。	消費者・生産者・事業者の意見が施策に反映させるよう努めます	7 消費者グループによる意見交換会の実施	消費者グループや消費生活・計量モニターによる意見交換会を実施します。	年1回	0回	年1回	年1回	B. 計画通り進展	H29年度で消費生活・計量モニター廃止のため、対象を変更し意見交換会を実施	生活安心安全課

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
食の安心・安全に関する意見交換を推進します。	消費者・生産者・事業者の意見を施策に反映させるよう努めます	8 監視指導計画(案)の公表及び意見の募集	毎年度、食品の監視指導計画作成時に、ホームページなどで案を公表し、市民からの意見を募集します。	次年度監視指導計画(案)作成時にパブリックコメントを募集する	意見4件	意見4件	意見0件	B. 計画通り進展		食品衛生課
		9 静岡市食の安心・安全意見交換会の開催	「静岡市食の安心・安全アクションプラン」について、生産者、消費者、学識経験者等で構成された「食の安心・安全意見交換会委員」からご意見をいただき、プランの策定や進行管理の参考とします。	2回	2回	2回	2回	B. 計画通り進展		食の安全対策推進連絡会事務局
	リスクコミュニケーションを開催し、食の安心・安全について意見交換を進めます	10 生涯学習施設等でのリスクコミュニケーションの開催	生涯学習施設と連携して、市民に食の安全への理解を深めてもらい、意見交換を行うためのリスクコミュニケーションを実施します。	申し込みに応じる実施率90%以上	14回	11回	12回	B. 計画通り進展		食の安全対策推進連絡会事務局 生涯学習推進課 生活衛生課
		11 市政出前講座「食べてもだいじょうぶ？」の開催	市民団体からの依頼で講座を開催し、食品の安全性について、市民が不安に感じていること、誤解の多いことを中心に「本当に気を付けることは何か」を開設します。	申し込みに応じる実施率90%以上	14回	11回	12回	B. 計画通り進展		食の安全対策推進連絡会事務局
		12 フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	健康支援課と連携して、保健福祉センターで開催される妊婦教室の中で、栄養指導と合わせて食品の安全性に関する時間を設け、リスクコミュニケーションを行います。	開催予定に対する実施率90%以上	28回	28回	27回	B. 計画通り進展		各区健康支援課 食の安全対策推進連絡会事務局
食品表示の適正化を推進します	食品表示の監視指導を実施します	13 食品販売店、製造業者へ立ち入り時の表示検査	食品販売店、製造業者への立ち入り時に表示のチェックを行い、食品表示の適正化を推進します。	随時実施	3648件	403件	333件	B. 計画通り進展		食品衛生課
		14 静岡県、静岡市生活安心安全課等と食品表示の合同調査の実施	食品表示において、生活安心安全課、食品衛生課と、県の職員が合同で施設の立ち入り検査を行います。	静岡県合同監視指導実施計画による立ち入り検査実施率90%以上	9件	18件	4件	B. 計画通り進展		食品衛生課 生活安心安全課
		15 国、県等からの不審・疑問表示の調査と広告の改善指導	食品表示法に係る食品表示違反、薬機法に係る無承認無許可医薬品の発見の通報に対して必要に応じて調査を実施し、表示や広告などの改善、指導を実施します。	違反、通達、発見件数の100%処理	4件	8件	2件	B. 計画通り進展		食品衛生課 生活安心安全課 生活衛生課

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
食品表示の適正化を推進します	食品表示モニターを委嘱します	16 食品表示モニターの委嘱	市民と協同して、食品表示の適正化を図ります。公募市民による日常生活での購買行動を通じた食品表示のモニタリングを行い、モニターからの情報・意見を集計し、必要に応じて陣業者への調査、改善指導を行います。また、モニターからの疑問・質問に回答し、食品表示の正しい知識を身につけてもらいます。	30人委嘱	27人委嘱	27人委嘱	27人委嘱	B. 計画通り進展	辞退者が出たためモニター数が指標値に届かなかったが、事業者を招いて講話を実施する等制度を充実させているため、評価をBとした。	食の安全対策推進連絡会事務局
		17 食生活改善推進員による地区活動	・乳幼児から高齢者を対象に地域で食を通じた健康づくりを推進します。 ・地域の特徴にあわせた事業や統一テーマによる取り組みを実施します。	生活習慣病予防事業、母子の健康・貧血予防事業、高齢者の健康食生活事業の実施	48回 参加者3, 194人	60回 参加者2,991人	63回 参加者3,788人	B. 計画通り進展		健康づくり推進課
食の安心・安全に関する教育、啓発を推進します	食品の安心・安全に関する知識の普及に努めます	18 こども園の食育研修	静岡市食育推進計画を基に、こども園と地域とが協働する食育について研究し、実践計画作成するグループと各こども園における食育活動を推進するための支援活動等を実践するグループがあり、情報交換を行い食育を普及します。	5回	5回 115名	4回 101名	4回56名	B. 計画通り進展		こども園課
		19 関係機関・団体と連携した食育推進	食のネットワークを活用した連携事業により食育を推進します。	食育月間普及啓発	食育月間普及啓発 ・展示5日間(6月) ・図書館展示(6月)  おいしい食べもの探検隊1/31 240人 その他連携1事業 合計16人参加	・食育月間普及啓発【展示10日間(6月)、図書館展示(6月)】 ・おいしい食べもの探検隊1/29 94人 ・常葉大学と連携し学生が考案した健康食を食堂で提供	・食育月間普及啓発【展示12日間(6月)、図書館展示(6月)】 ・イオン清水と連携食育イベント	B. 計画通り進展		健康づくり推進課
		20 食育普及啓発事業	健全な心身と、豊かな人間性をはぐくみ、生涯にわたり健康を保持するため、食育の普及啓発をします。	食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	食生活改善普及運動 9/1～30(静岡・清水庁舎)  食育の日の普及啓発 毎月19日に実施	食生活改善普及運動 9/1～30(静岡庁舎)  食育の日の普及啓発 毎月19日に実施	食生活改善普及運動 9/1～30(静岡・清水庁舎)  食育の日の普及啓発 毎月19日に実施	B. 計画通り進展		健康づくり推進課
		21 食育応援団登録制度	食に関する知識や経験を持つ企業・団体・個人に食育応援団として登録していただき、市民の食育の取り組みに協力します。	食育応援団の登録数、利用数の増加	登録数25個人・団体 活用数31回1,064人	登録数28個人・団体 活用数52回1,547人	登録数30個人・団体 活用数79回、3,527人	B. 計画通り進展		健康づくり推進課
		22 食の安全教室の開催	食品衛生課、生活衛生課、学校給食課、環境保健研究所が連携し、市内小中学校において、食中毒、栄養バランス、食品添加物等のテーマで授業を行います。	申し込みに応じる実施率 90%以上	34校2481人参加	41校2254人参加	34回1827人参加	B. 計画通り進展		食の安全対策推進連絡会事務局 学校給食課 環境保健研究所 生活衛生課

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
食の安心・安全に関する教育、啓発を推進します	食品の安心・安全に関する知識の普及に努めます	23 食の安全に関する講座の開催	食品表示講座等、食の安全に関する講座を開催します。	年2回	年2回	年2回	年2回	B. 計画通り進展		生活安心安全課
		24 食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	静岡市科学館「るくる」などにおいて小中学生を対象とした夏休み講座を開催します。また、市政出前講座などの市民講座も開催します。	講座内容のさらなる充実を目指す	・夏休み講座 1回 ・食の安全教室 11回 ・市民講座 5回	・夏休み講座1回 ・食の安全教室7回 ・市民講座5回	・夏休み講座1回 ・食の安全教室8回 ・市民講座2回	B. 計画通り進展		環境保健研究所
		25 感染症の感染様式、予防方法についての正しい知識の普及(講習会等)	ノロウイルスやインフルエンザに関する講習会を社会福祉施設等で行います。	申し込みに応じて開催	0回	3回	1回	B. 計画通り進展		保健予防課
		26 食育活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業のプログラムの中で「命をいただく活動」として、井川地区で養殖されたアマゴをさばいて、串焼きにして食べる活動を行っています。また、主催事業の中で、椎茸の菌打ちや、山菜の天ぷらを揚げて食べる事業を行っています。	あまごの串焼きづくり、椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室、とうもろこしのもぎ取り体験、在来野菜の調理教室、あまごの串焼き体験など年間27回実施	椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室、とうもろこしのもぎ取り体験、在来野菜の調理教室、あまごの串焼き体験など年間27回実施	椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室、トウモロコシのもぎ取り体験、ブルーベリー狩り、在来野菜の調理教室、あまごの串焼き体験など年間26回実施	椎茸の菌打ち体験、山菜の天ぷら教室、トウモロコシのもぎ取り体験、在来野菜の調理教室、あまごの串焼き体験など年間25回実施	B. 計画通り進展		教育総務課
		27 野外炊飯活動の推進	炊飯活動を行う、小中学校および主催事業参加者に、「食材料」「薪」「水」を大切に使う、炊飯を行うエコなクッキングについて指導を行っています。	小中学校及び主催事業のプログラム	32回実施	35回実施	32回実施	A. 計画以上の進展		教育総務課
		28 食の安心・安全に関する講座の開催	各生涯学習施設における事業として、食の安心・安全に関する講座を開催します。	37施設中10施設で開催	37施設中5施設で開催	37施設中7施設で開催	37施設中9施設で開催	B. 計画通り進展		生涯学習推進課
	生産者、食品事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます	29 地産地消を学ぶ講座の開催	各画生涯学習施設における事業として、地元食材の活用や地域の食文化について理解を深める講座等を開催します。	37施設中25施設で開催	37施設中25施設で開催	37施設中21施設で開催	37施設中27施設で開催	B. 計画通り進展		生涯学習推進課
		30 地産地消マップの紹介（ZRATTO！しずおか）	市民（消費者）の地場産農産物の利用促進を図るため、ホームページ上に地産地消マップを掲載し、安心・安全な地場農産物を購入できる直売所や観光農園等を紹介します。	年4回以上（随時更新）	年120回	年114回	年127回	A. 計画以上の進展	農産物の情報更新回数が指標を上回っているため評価をAとした。	農業政策課
		31 お茶の美味しい入れ方教室の開催	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚をはぐくみ、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓蒙・消費促進を図ります。	86校	75校	76校	71校	B. 計画通り進展	カリキュラムの関係で未実施校はあるが、興味・関心が高まり実施後の満足度が高いため評価をBとした。	農業政策課

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
食の安心・安全に関する教育、啓発を推進します	生産者、食品事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます	32 農業体験教室の開催（アグリチャレンジパーク蒲原）	市民・親子を対象に農業体験教室を実施し、市の特産物への興味や理解を深め、特産物の消費拡大を図ります。農業への興味や理解を深める。	3回（旬の食材を題材とした教室の開催）	1回	3回	2回	B. 計画通り進展	6月に1回目の収穫体験を実施予定。	農業政策課
		33 ふるさと農力チャレンジ事業	農業者等が新規で行う6次産業化挑戦事業、新農産物開発事業及び朝市開催事業に対して補助金を交付し支援していくことで、農業や地域の活性化を図ります。	新規取り組みに対する支援5件	新規取り組みに対する支援8件	5件	7件	A. 計画以上の進展	新規取組に対する支援件数が指標を上回っているため評価をAとした。	農業政策課
		34 用宗漁港祭りの補助	釜揚げシラス試食・販売、模擬セリ、鮮魚販売・生シラス販売、魚を使用した丼販売、体験乗船を通して、地元の農産物、漁業、漁法の理解、海からみた風景により「我がまち」の再認識に役立てます。	1回	4月26日実施 来場者数：50,000人	4月24日実施 来場者数：50,000人	4月29日実施 来場者数：50,000人	B. 計画通り進展		水産漁港課
		35 由比桜えびまつりの補助	桜えび、しらす、その他由比地場産品の即売、桜えびのかき揚げ、桜えびてんぷらそばの販売、イベントステージ、体験乗船などに対し、補助を行います。	1回	5月3日実施 来場者数：70,000人	5月3日実施 来場者数：70,000人	5月3日実施 来場者数：70,000人	B. 計画通り進展		水産漁港課
		36 清水お魚ふれあい事業への補助	地びき網漁業体験、しらす船びき網漁業見学、に対し、補助を行います。	2回（地引網体験シラス漁の見学）	地引網漁体験 7月20日実施 シラス漁見学 8月9日実施	地引網漁体験 7月24日実施 374人 シラス漁見学 8月11日実施 275人	シラス漁見学 8月11日実施 267人	B. 計画通り進展		水産漁港課
		37 産業フェア（水産ゾーン）の展示	釜揚げシラス販売、水産加工品の販売、その他水産物の販売・PRなどを実施します。	1回	11月28日・29日参加	11月26日及び27日：9団体参加	11月25日及び26日	B. 計画通り進展		水産漁港課
		38 学校給食における地産地消の推進	学校給食における地場産物の活用推進を図ります。	毎月1回以上「ふるさと給食の日」を実施 年2回活用率調査を実施	学校給食地産地消率（県内産） 6月：46.2% 11月：44.5%	平成28年度学校給食地産地消率 6月：44.6% 11月：44.6%	平成29年度学校給食地産地消率 6月：45.7% 11月：46.3	B. 計画通り進展		学校給食課
生産、調理、製造、加工段階における食の安全確保を強化します	環境にやさしい農業生産を推進します	39 エコファーマーの推進	環境に配慮した農業生産方式に取り組む農業者を認定します。	310人	300人	195人	183人	B. 計画通り進展	認定者数は、平成29年度の指標195人に対し、94%の183人となった。	農業政策課
		40 クリーン農産物産地育成事業	農業者団体が行う、農業が市民の生活や環境に与える影響を軽減するための事業に要する経費に対し助成を行います。	7団体	11団体	15団体	15団体	A. 計画以上の進展	プラン策定時の指標と比べ申請件数が増加し、事業を実施する対象作物が増えたため評価をAとした。	農業政策課

基本方針	基本的な取 り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時 指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
生産、調 理、製造、 加工段階 における食 の安全確 保を強化し ます	食品の調 理、製造、 加工段階 における監 視指導を行 います	41 学校給食の食材の安全確保	安全な学校給食の実施に資するため、各施設で使用食材及び調理済み食品の定期検査を実施します。	①各施設10検体程度実施 ②市街地4センター・計39回実施	①使用食材検査 ・学校給食センター：33検体 ・単独調理校等：234検体 ②学校給食放射性物質測定年間39回、182検体	①33施設中30施設、263検体の検査を実施。 ②4センターで37回測定。	①使用食材検査 30施設中28施設、260検体の検査を実施。 ②学校給食放射性物質測定4センター21回実施。	B. 計画通り進展		学校給食課
		42 市内で調理、製造、加工した食品の製造業者等の監視指導の実施	各食品や施設のリスクをもとに年度ごとに設定された監視指導計画に基づき、市内で食品を取り扱っている施設への立ち入り検査を行います。	監視指導計画に対する実施率90%以上	18800件	19874件	21397件	A. 計画以上の進展	監視指導計画に基づく立ち入り検査をより効率的に実施できた。	食品衛生課
		43 大規模食鳥処理場での検査	大規模食鳥処理場で、鶏肉の検査をします。また、鳥インフルエンザ防疫訓練も合わせて実施します。	監視指導計画に対する実施率90%以上	518回 113万羽	518回 113万羽	516回 111万羽	B. 計画通り進展		食品衛生課
		44 こども園の給食室巡回、指導	給食室内の衛生管理、事務などの支援を行います。	170回	94回	426回	337回	A. 計画以上の進展		こども園課
		45 イベント等の指導	市内で行われるイベントについて、開催者に対し提供食品の事前相談指導、説明会、監視指導を必要に応じて行います。	開催者からの相談に対する実施率100%	105件	163件	110件	B. 計画通り進展		食品衛生課
	食品の検査を行います	46 市内で生産、調理、製造、加工した食品の収去検査の実施	各食品のリスクをもとに年度ごとに施ってされた計画にもとづき、市内で生産、調理、製造、加工している食品を事業者に提供してもらい、細菌あるいは理化学検査を実施します。	監視指導計画に対する実施率90%以上	745検体	599検体	511検体	B. 計画通り進展		食品衛生課
		47 こども園、保育園給食衛生研修会の開催	私公立こども園、保育園の給食業務担当者を対象に衛生に関する研修を行います。	13回	18回 381名	16回 393名	17回 490名	B. 計画通り進展		こども園課
	食中毒の未然防止の周知・啓発を行います	48 学校給食衛生研修会の開催	学校給食における食中毒の防止、衛生管理の徹底、調理従事者の衛生意識向上を目的に、各施設の衛生責任者を対象とした研修会及び給食従事者を対象とした研修会を開催します。	年2回実施(4月、7月)	○学校給食衛生責任者研修会 ・清水庁舎(4月3日) ○学校給食衛生研修会 ・東部学校給食センター(7月29日) ・清水庁舎(7月30日)	○学校給食衛生責任者研修会 ・4月4日清水庁舎、59名参加。 ○学校給食衛生研修会 ・7月28日東部給食センター、50名参加。 ・7月28日清水庁舎、115名参加。 ・8月9日清水庁舎、86名参加。	○学校給食衛生責任者研修会 ・4月5日清水庁舎、58名参加。 ○学校給食衛生研修会 ・7月27日東部給食センター、53名参加。 ・7月27日清水庁舎、146名参加。	B. 計画通り進展		学校給食課

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
生産、調理、製造、加工段階における食の安全確保を強化します	食中毒の未然防止の周知・啓発を行います	49 食品等事業者に対する衛生講習会の開催	食品等事業者の希望に応じて、食中毒予防、衛生管理などの講習をします。	申し込みに応じる実施率90%以上	衛生講習会114回実施	69回実施	86回実施	B. 計画通り進展		食品衛生課
	自主衛生管理を進めます	50 HACCP希望者及び取得者からの相談と助言	HACCPを取り入れて食品を製造しようとしている、あるいは既にHACCPを取り入れて食品を製造している事業者への助言を実施します。	相談に応じる対応100%	11回	21回	100施設	B. 計画通り進展		食品衛生課
		51 食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟業者との連携	食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者と連携し、静岡市食品衛生推進員を委嘱し、自主衛生管理の推進を行います。	110人委嘱	●8月3日に食中毒予防月間街頭広報を行った ●バザー等を開催する主催者に食品衛生啓発品(ハンドソープ)を配布した ●2月14日に食の安全講演会を行った	●8月1日に食中毒予防月間街頭広報を行った ●バザー等を開催する主催者に食品衛生啓発品(ハンドソープ)を配布した ●11月25日に食の安全講演会を行った	●8月1日に食中毒予防月間街頭広報を行った。 ●バザー等を開催する主催者に食品衛生啓発品(ハンドソープ)を配布した。 ●2月14日に食の安全講演会を行った。	B. 計画通り進展		食品衛生課
流通、販売段階における食の安全確保を強化します	食品の流通、販売段階における監視指導を行います	52 デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導の実施	監視指導計画にもとづき、大型店、スーパー、流通センターなど食品販売施設の監視指導を行います。	監視指導計画に対する実施率90%以上	642件	712件	870件	B. 計画通り進展		食品衛生課
	食品の検査を行います	53 輸入食品や広域流通食品等の収去・買い上げ検査の実施	主に中央卸売市場において、輸入食品や広域流通食品を事業者提供してもらい、または買い上げ、細菌あるいは理化学検査を実施します。残留農薬の検査や容器包装に有害物質が含まれていないかどうかの検査も行います。	監視指導計画に対する実施率90%以上	440検体	450検体	304検体	B. 計画通り進展		食品衛生課
		54 食品の放射性物質検査の実施	市内に流通する食品を事業者提供してもらい、食品など放射性物質について、設定された基準値に基づき検査を実施します。また、他都市の検査の結果に基づいて発せられた「出荷制限・採取制限」などの情報を念頭に、市場などの食品など出入荷状況の把握に努めます。	監視指導計画に対する実施率90%以上	120検体	120検体	90検体	B. 計画通り進展		食品衛生課
		55 いわゆる健康食品の買い上げ検査の実施	健康食品を買い上げし、医薬成分等が含まれていないか検査を依頼し確認します。	10検体	10検体	10検体	10検体	B. 計画通り進展		生活衛生課
	中央卸売市場における食品の安全管理を進めます	56 卸売市場品質管理高度化マニュアルの推進	・品質管理実施状況を確認します。 ・品質管理高度化を推進するため必要な施設を改修を進めます ・品質管理高度化の推進に伴う衛生措置に関する講習会を実施します。	各団体においてマニュアルに沿った品質管理を実施する	各団体においてマニュアルに沿った品質管理を実施した。	品質管理高度化推進のため、市場内への鳥類の侵入防止措置を継続的に実施した。	品質管理高度化推進のため、市場内への鳥類の侵入防止措置を継続的に実施した。	B. 計画通り進展		中央卸売市場

基本方針	基本的な取り組み事項	事業名	事業内容	プラン策定時指標	実績			平成30年6月時点でのプラン進捗状況		担当課
					平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価	コメント	
調査・検査技術の充実を図ります	食品の安全性確保対策の基礎となる調査、検査技術の充実を図ります	57 食品衛生検査施設の業務管理要領（GLP）に則った検査の実施	規格基準が定められている食品及び添加物等の検査を実施します。	収去計画に基づいた検査の完全実施	・細菌検査 351検体 ・理化学検査 302検体	・細菌検査447検体 ・理化学検査274検体	・細菌検査 437検体 ・理化学検査246検体	B. 計画通り進展		環境保健研究所
		58 適切な項目の検討や食の安全を確認する調査の実施	適切な項目の検討や食の安全を確認する調査を実施します。	新たな妥当性評価の実施	・妥当性評価 11検体 ・放射性物質検査 185検体	・妥当性評価 2品目 ・放射性物質検査 173検体	・妥当性評価 2品目 ・放射性物質検査 127検体	B. 計画通り進展		環境保健研究所
危機管理体制を充実させます	危機が発生した場合の被害拡大防止及び再発防止に努めます	59 飲食に起因する危害発生時の詳細で正確なデータの提供	食中毒調査が発生した際の保健所からの依頼に基づく試験検査及び結果を報告します。	食中毒疑い等による検査を迅速に実施し、詳細で正確な成績書を提供	180検体	511検体	208検体	B. 計画通り進展		環境保健研究所
		60 食品に関する感染症発生時の拡大防止	腸管出血性大腸菌および細菌性赤痢等の発生届出受理後に患者宅を訪問し、聞き取り調査を実施します。	事案発生時に速やかに対応	ノロウイルス20件、3類感染症15件の調査を実施。	ノロウイルス等39件、3類感染症13件、4類感染症4件の調査を実施。	ノロウイルス等27件、3類感染症12件、4類感染症1件の調査を実施。	B. 計画通り進展		保健予防課
		61 市民からの食品衛生に関する苦情・相談の対応	窓口、電話、電子メールによる食品の苦情・相談について対応します。	苦情・相談に対する対応100%	3643件	4970件	3443件	B. 計画通り進展		食品衛生課